

# JACET中国・四国支部 Newsletter

## 第10号

### 目次

● 巻頭言	支部長 松岡 博信	pp.1-2
● 2012年度支部研究会報告	平本 哲嗣	pp.2-3
● 2012年度支部役員会報告	事務局幹事 平本 哲嗣	pp.3-4
● 2012年度支部研究会 OPP—第4回イベント報告	OPP代表 岩井 千秋	pp.4-5
● 2013年度春季・秋季研究大会 発表応募要領	事務局幹事 平本 哲嗣	p.5
● 事務局だより	事務局幹事 平本 哲嗣	pp.6-7
● 編集後記		p.7

## 巻頭言

中国・四国支部長 松岡 博信

明けましておめでとうございます。本年もどうかよろしくお祈りします。

昨年末、私は公事・私事ともにバタバタと忙しく、あっという間に大晦日が来たような気がします。ゆっくりとした気分では紅白歌合戦は楽しめませんでしたので、録画して観ました。実際、12月は毎週末のように宿泊を含めた学会があり、ほとんど自

宅におりませんでした。それらの中に、JACET 本部で開かれた支部長会議および理事会があります。

ご存じのように、文部科学省の認可を得て、JACETは本年4月から一般社団法人に正式に移行いたします。支部役員の先生方は、これまでのスケジュール通り昨年度に任期満了に伴う役員改選があり、この4月

からは2年目ということになります。支部役員の任期は2年なので、本来なら来年度末は再び改選となりますが、社団法人になって1年目の改選はできませんので、役員在任期間をもう1年延長して、平成27年3月までとさせていただきますことになり、すでに支部役員全員の方から同意を頂いています。大学も経営が厳しい折、若い先生の採用が減って、昔であれば若手の教員がする仕事を、いつまでもベテランおよび中堅の先生がしなくてはならない時代です。つまり、学会の役員のようなボランティア的活動に割ける時間はますます減っていると思いますが、そのような中、通算3年もの間、支部役員としてご協力をいただけるというのは、まことにもって感謝の言葉も見つかりません。本当に有難い気持ちでいっぱいです。

さらに、来年8月末に本支部は全国大会を開催することになっており、現在の役員の先生方にもお手伝いをいただくことは必ずであります。昨年末には、早速にその実

行委員会の委員長である岩井千秋先生、支部の代表幹事である平本哲嗣先生、会計担当の山川健一先生と4人で全国大会に向けた協議を行いました。まだまだ詳細な点は確定しておりませんが、予定の大枠については近いうちにお知らせできると思います。

このような繁忙の中、私自身も1月末から現在アメリカのカリフォルニアで半年留学をしている本学英文科からの留学生の帰国引率のために2週間ほど出張します。12年ぶりのアメリカですが、その変貌ぶりを肌で感じて来たいと思っています。

先生方におかれましても、それぞれのご公務で大変お忙しいと存じますが、どうか適切なストレス解消と運動および食事量の調節に心がけられて、実りの多い一年をお過ごしになられますように心底より祈念しております。

今後とも本支部の活動へのご理解とご協力を賜りますよう切にお願いいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

(安田女子大学)

## 2012年度支部研究会報告

平本 哲嗣

大学英語教育学会中国・四国支部 2012年度支部研究会は、10月27日(土)に安田女子大学を会場として開催された。5件の研究発表の申込があり、参加者は30名弱と多くはなかったものの、多彩なテーマに関する研究発表と活発な意見交換が行われ大変充実した研究会となった。

大会の前半では3件の研究発表が行われた(司会:岩中貴裕)。1件目「スピーキングパフォーマンスにおける複雑さと正確さと流暢さ-熟達度の異なる3グループ間での比較-」(奥田利栄子)、2件目「音読の英文読解力に及ぼす効果について-内在化に焦点を当てて-」(佐藤あずさ)、3件目「新学習指導要領における中学校英語

教科書が扱う文化題材の特徴」(大川光基)の3件の発表があった

1件目の発表は学習者のスピーキングをCAF (complexity、 accuracy、 fluency) の観点から、picture description taskとfree story telling taskという異なる課題を被験者に与え、そのパフォーマンスを測定した。その結果、それぞれのタスクにおいて、CAFの発達傾向に異なる特徴が見られた。2件目の発表では、短期の音読演習を通して得られたデータを参照しつつ、音読のキーワードであると考えられる「新規学習項目の内在化機能」に焦点を当てて、音読演習の効果が論じられた。3件目の発表では、新しい中学校英語教科書をレッスンごとに異文

化理解の観点から調査した結果が報告された。全体的な傾向として、幅広い分野の題材と英語圏の国に関する題材が多く扱われており、潜在文化よりも顕在文化に関する題材が大半を占めていること、また日本文化の取り扱いが増えていることが指摘された。

後半では2件の発表が行われた(司会: 平本哲嗣)。4件目「小学校と中学校の連携を視野に入れた中学1年入門期における英語フォニックス指導」(林 恵利)、5件目「動機づけを高める方略の開発と検証: 仮説継承型アプローチを用いて」(田中博之)の2件である。4件目の発表では、語彙学習に焦点が当てられ、小学校外国語活動と中学英語教科書で使用される語彙の重複度を調査した結果が報告され、これに基づき小中で重複する語彙を用いたフォニックス指導のあり方が提案された。5件目の発表では、動機付け研究において「仮説継承」という枠組みを用いることによって、量的アプローチと質的アプローチを組み合わせる研究デザインが紹介され、それに則った動機づけを高める研究例の概略が提示された。各発表後の質疑応答ではフロアから内容の濃い質問が数多く出され、発表者のみならず、参加者全員が多くの気づきや

問題意識を得る良い機会となった。

大会後には、会場の近くにある「とり楽」という居酒屋において懇親会が開催され、多くの方々のご参加をいただいた。学会における研究発表は「発表&質疑応答」という時間の縛りの中でなされるものだが、大学英語教育という実践そして研究活動を語るにはあまりにも時間が短すぎる。懇親会のような場で、互いがそれぞれの置かれた環境を理解しあい、胸襟を開いて大学英語教育を語りあうのは決して無駄なことではない。見失ってはならないのはこのくつろいだ空間における議論をその場限りのものとせず、平素の教育実践、研究に還元しようとする我々の職業意識ではないだろうか。我が国の英語教育に対する風当たりが強い中、社会的責務を果たし、教育、研究の成果を常に発信する義務が我々英語教育従事者にはある。それは決してすぐに答えの出る楽な仕事ではないが、いつまでも英語のプロフェッショナルとしての意識を絶やさずに努力を続けたいと考えている。

最後になるが、参加いただいた方々、発表や司会を行って下さった先生、支部役員の方々、大会運営を補助してくれた学生さんに心よりの感謝を申し上げます。

(安田女子大学)

## 2012年度 JACET 中国・四国支部

### 第2回役員会報告

10月27日(土)に開催された支部役員会にて、2013年度スケジュール(案)について話し合いが行われました。暫定的ではありますが、お知らせいたします。

- 1) 支部主催 研究大会  
・春季研究大会

日時: 2013年6月8日(土)  
13:00~ 研究発表(予定)  
18:00~ 懇親会(予定)

場所: 就実大学  
大会テーマ: 未定

- ・秋季研究大会  
日時: 10月26日(土)  
13:00~ 研究発表(予定)  
18:00~ 懇親会(予定)

場所: 香川大学  
大会テーマ: 未定

2) 支部総会

日程：2013年6月8日（土）  
場所：就実大学

3) Oral Presentation & Performance  
(OPP) 研究会

日程：2013年12月14日（土）  
場所：検討中

## 2012年度支部研究会 OPP-第4回イベント報告

支部研究会 Oral Presentation & Performance (OPP) の第4回年次イベントを去る12月15日（土）に広島工業大学さんのデネブホールをお借りして開催しました。今回は8大学から9団体の参加がありました。参加者総数は、学生パフォーマー67名、教員数11名の計78名でした。以下に、参加大学の発表テーマなどを、発表順にご紹介します。

- ・開会式
- ・会場校挨拶 三熊祥文先生（広島工業大学）
- ① 広島修道大学（貫名緑先生）  
“Job Hunting around the World”
- ② 県立広島大学（吉本和弘先生）  
A Drama in English: “A Mad Tea Party”  
from *Alice in Wonderland*
- ③ 広島国際大学（山中英理子先生、三宅美鈴先生）“Christmas Tableau – The Amazing Story of the Holly Infant –”
- ④ 松山東雲女子大学（佐伯三麻子先生）  
“Exploring Expressions of Japanese Style in Temples in Kyoto”
- ⑤ 広島工業大学（三熊祥文先生）
  1. Group Performance, “HIT-Chants 2012”
  2. Original Speech “A Life’s Lesson Learned from the Tensile Test”
- ⑥ 広島市立大学（岩井千秋）  
Research Presentation “It’s a University World!”
- ⑦ 県立広島大学（船津（上斗）晶代先生）  
Oral Interpretation: Excerpts from “Pride and Prejudice” by Jane Austin
- ⑧ 海上保安大学校（二五義博先生）

### “The Sea, Men and Japan Coast Guard Academy”

⑨ 安田女子短期大学（橘野実子先生）

Play: “Call Me Maybe”

- ・閉会式、及び懇親会

研究会発足から5年、手探りと試行錯誤でイベントを実施してきましたが、回を重ねるごとに、発表の内容も方法も格段に進化していることを実感します。今回の発表作品を特徴別に分けるとすれば次の3つに区分できるかと思えます。ひとつはストーリー性があり演技力を必要とするドラマや演劇（上の②、③、⑦、⑨）、次はインタビューや調査を伴う発表（①、④、⑥）、そして大学の独自性を創造的に仕上げた作品（⑤と⑧）です。全体的に、過去のイベントの賑やかさよりも、美しさや、凛々しさ、知性が際立ち、見る側を魅了する発表が多かったように感じました。発表に用いられる英語の量も増えているように思われ、*Performance creates competence* という、私が気に入っているある研究者たちのことばを想起しました。

午後1時に開演したイベントは瞬く間に4時間が経過。イベント終了後に、今回も懇親会を開催し、教員・学生が一緒になって楽しいひと時を過ごしました。私たち教員側にとって英語の指導に関わる技術面での収穫を挙げると限がありません。しかしそれ以上に、英語教育のあり方を一緒に語り会える研究仲間のネットワークが広がりつつあることが、何にも換え難い収穫です。

終わりになりますが、この度も立派なホールを使わせていただいた広島工業大学さん、及び会場校としてお世話いただいた同

大学の堀部秀雄先生と三熊祥文先生に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。次回も多くの皆様のご参加を願っています。

<OPP ウェブサイト情報>

<http://chiaki.intl.hiroshima-cu.ac.jp/Bulletin/07OPP/>

※動画等についてはパスワードが必要です。ご希望の方は代表者までお問い合わせください。

(OPP 代表 岩井千秋 広島市立大学)



閉会式での各教員によるコメント

## 2013 年度春季・秋季研究大会の発表応募要領

事務局幹事 平本 哲嗣

### A) 応募情報

英語での併記もお願い致します。

- a. 発表題目 (Title) : 日本語と英語
- b. 種別 (Style) : 自由研究発表、実践報告、事例研究など
- c. 氏名 (Name) :
- d. 研究領域 (Research Area) :
- e. 概要 (Abstract) : 目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献など日本語の場合は 600 字以内、英語の場合は 250 words 以内とする。
- f. 所属 (Affiliation) :
- g. 使用機器 (Equipment needed) :
- h. 連絡先 (Contact Address) : メールアドレスなど
- i. 発表を希望する大会
  1. 春季研究大会
  2. 秋季研究大会

### B) 申込応募期間

#### 春季研究大会

2013 年 4 月 25 日(木)~5 月 25 日(土)  
午後 11 時 59 分まで

#### 秋季研究大会

2013 年 9 月 15 日(日)~10 月 15 日(火)  
午後 11 時 59 分まで

### C) プログラムおよび発表スケジュール

1. 春季研究大会は 5 月下旬
2. 秋季研究大会は 10 月中旬

E-mail で通知いたします。

■中国・四国支部ホームページにも情報を掲載いたします。

<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp/>

#### ■申込先

事務局幹事 平本哲嗣

[hiramoto@yasuda-u.ac.jp](mailto:hiramoto@yasuda-u.ac.jp)

## ～事務局だより～

遅めのご挨拶となりましたが、明けましておめでとうございます。中国・四国支部では、2013年度より研究大会が春秋の2回開催となります。目下、春の就実大学、また秋の香川大学での開催にむけ準備に取り組んでいるところです。また、再来年度（2014年度）の国際大会では、本支部が会場校を担当することとなりました。2014年の夏、広島市立大学を会場として、国際大会が開催される予定です。テーマは「平和と友好をめざす英語コミュニケーション力の育成」(Fostering English Communicative Competence for Peace and Friendship)とし、平和都市広島を舞台に、世界の平和や友好に寄与する英語教育のあり方を、大学英語教育の立場から議論する場にしたいと考えています。国際大会は再来年ですが、今年はその準備のためより一層忙しい年になりそうです。今年も本支部の活動にご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

中国・四国支部では研究大会・研究会等のご案内を支部HPをはじめ、葉書やメールにてお知らせしております。年度が替わり異動された会員の方は、所属、メールアドレス、住所、身分・資格などを、事務局本部 [jacet@zb3.so-net.ne.jp](mailto:jacet@zb3.so-net.ne.jp) までご連絡ください。

### ★新入会員紹介★

2012年度の新入会員をご紹介します。  
(2012年8月から2013年1月まで)

山岡佑加理

バロウズ、クリスチャン

Stafford、Mark

佐藤あずさ

西原 圭

林 恵利

(敬称略)

どうぞ、よろしく申し上げます。

### ★2013年度支部人事★

2013年度の本支部における支部人事およ

び本部委員人事(案)をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 【支部役員】

支部長 松岡博信 (安田女子大学)

副支部長 岩井千秋 (広島市立大学)

支部幹事 (\*は事務局幹事)

\*平本哲嗣 (安田女子大学)

高橋俊章 (山口大学)

三宅美鈴 (広島国際大学)

支部会計担当者

山川健一 (安田女子大学)

支部研究企画委員

筏津成一 (鳥取大学)

池野 修 (愛媛大学)

岩中貴裕 (香川大学)

上西幸治 (広島大学)

角山照彦 (広島国際大学)

橘野実子 (安田女子短期大学)

小山尚史 (岡山大学)

高垣俊之 (尾道市立大学)

瀧由紀子 (松山大学)

高橋俊章 (山口大学)

田中博晃 (広島国際大学)

田辺尚子 (安田女子大学)

田淵博文 (就実大学)

寺嶋健史 (松山大学)

鳥越秀知 (香川高等専門学校)

西田 正 (福山大学)

平本哲嗣 (安田女子大学)

堀部秀雄 (広島工業大学)

三熊祥文 (広島工業大学)

三宅美鈴 (広島国際大学)

山川健一 (安田女子大学)

ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

総務委員会（支部事務局幹事）  
平本哲嗣（安田女子大学）  
財務委員会（支部会計担当者）  
山川健一（安田女子大学）  
国際大会組織委員会本部  
田中博晃  
『JACET 通信』委員会  
鳥越秀知  
学術出版委員会紀要担当  
堀部秀雄  
学術出版委員会  
堀部秀雄  
セミナー事業委員会 サマーセミナー担当  
田淵博文  
研究促進委員会

岩井千秋（広島市立大学）  
国際交流委員会  
堀部秀雄（広島工業大学）  
大学英語教育学会賞運営委員会  
筏津成一（鳥取大学）  
国際大会組織委員会 支部  
岩井千秋（広島市立大学）

★支部紀要・ニューズレター発行予定★

\*『支部紀要』第 11 号  
2013 年 3 月 31 日刊行（予定）  
\*『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』  
2013 年 7 月 30 日（第 11 号）発行（予定）  
2014 年 1 月 20 日（第 12 号）発行（予定）

編集後記

今年は例年より寒さが厳しく、雪の日が続いております。皆様お変わりございませんでしょうか。

百人一首で「雪」に纏わる句を一首。「君がため 春の野に出でて 若菜摘む 我が衣手に 雪は降りつつ」(光孝天皇)。現代語訳では、「あなたにさしあげるため、春の野原に出かけて若菜を摘んでいる私の着物の袖に、雪がしきりにふりかかってくる」と訳されています。この若菜は「春の七草」を指しているようで、新春に若菜を食べると邪気を払って病気が退散すると考えられていました。

光孝天皇が若菜を摘んだ場所は、京都の右京区嵯峨にあった「芹川」の野辺だったそうです。雪の日の初春に京都を訪れるのも、とても風流ですが、若菜と言えば奈良市の春日野。今年は京都だけでなく奈良まで足を運ばれて初春を楽しむというのはい

かがでしょう。

さて、今回も慌ただしく原稿をお願いし発刊にいたりしました。中国四国支部役員の皆様のチームワークの良さにいつも救われています。助けていただきながらですが、支部会員の皆様のお役に立てるよう今年も頑張っまいます。皆様、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(MM)



JACET 中国・四国 Newsletter 第 10 号

2013 年 1 月 31 日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部(支部代表 松岡 博信)

編集 : JACET 中国・四国支部 三宅 美鈴

発行所 : 〒739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36 広島国際大学 保健医療学部臨床工学科  
三宅 美鈴

連絡先 : Tel:0823-70-4563 FAX:0823-70-4544 E-mail: m-miyake@it.hirokoku-u.ac.jp